

図書館だより

READING

令和8年2月 第5号
川西緑台高校 図書委員会

3年生のみなさんへ

ご卒業おめでとう
ございます。

年間統計 (R7.4~R8.2)

貸出冊数	442	冊
年間購入冊数	201	冊 (購入図書一覧はGoogle Classroomで配信します。)
総蔵書数	17,741	冊

3月の予定

3年生の利用は3/5(木)まで可能です。8:30~17:00 3/9(月)まで通常開館 放課後~17:00
その後は変則開館になります。図書館開館カレンダーを確認してください。
春休み中の貸出 5冊 返却日 4/9(木)

大学入試関連

小論文関連の本を追加で購入しました。語彙力や情報量をあげる方法の一つとして、毎日
少しだけ新聞を読むことをおすすめします。図書館には「神戸新聞」を置いています。

『大学入試総合・推薦入試をひとつひとつわかりやすく』樋口裕一他 Gakken 376.8
『大学入試・小論文ひとつひとつわかりやすく』伊藤博貴 Gakken 816.5

18歳成人

2022年から18歳が成人になりました。それに伴い契約などのトラブルが増えています。
困ったときに開く初めの一冊としてどうぞ。

『大学生になったら知っておきたい法律との付き合い方』天川勝志 同友館 2025年 320

2年生図書委員さん寄稿



自分らしい生き方を考える本

一年を振り返るこの時期、進路や将来について考える時間が増えてきた人も多いのではないのでしょうか。今回は「自分らしい生き方を考える」をテーマに本を紹介させていただきます。

『考える練習』伊藤真 サンマーク出版 2025年 141.5

将来のことを考えろと言われても、何から考えればいいのかわからない。

本書は、そんな悩みを抱える人に向けて、「考え方」そのものを教えてくれる一冊です。

進路や将来に正解はなくても、自分なりの答えを見つける力は身につけることができます。何かを選択する時、自信をもって答えを出したい人におすすめです。

『なぜ僕は働くのか』池上彰 Gakken 2020年 366

「何のために働くのだろう」「幸せになりたい」と多くの人が一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。本書は特に中学生や高校生に向けて、将来の働き方を考えるきっかけになるようにと願って書かれています。キャリアには正解がなく、自分で決めて選んでいくしかありませんが、本書はキャリアを考えることの道しるべになります。自分のキャリアについて深く考え始めた人に、一度は読んでほしい内容です。

『さあ、才能に目覚めよう』トム・ラス 日経BPM 2017年 336.04

自己分析を進める中で、「本当にやりたいことが分からない」「強みをうまく言語化できない」と悩む人は多いと思います。本書は、才能は特別な人だけのものではない、誰もが持つ“強み”を伸ばす大切さを教えてくれる。点数や周りとの比較に悩みがちな高校生に向けて、自分らしさのを見つけ方や強みの活かし方を分かりやすく紹介する、進路を考え始めた今こそ読んでほしい一冊です。

紹介した本の他に、「困難を乗り越える力」「自分で考える」「自分の強みに気づく」などに関する本は、緑高図書館にもありますので一度手に取ってみてください。

『苦しかった時と時の話をしようか』森岡毅 ダイヤモンド社 2019年 159

『君たちはどう生きるか』吉野源三郎 岩波書店 1982年 159.5

『自分だけの才能のを見つけ方』山口揚平 SBクリエイティブ株式会社 2021年 159

『本当の自身を手に入れる9つのステップ』水島広子 大和出版 2013年 159